

第1学年 実践事例

主題名 親切

〔内容項目 2－②〕

資料名 いしけり

出典 1ねんせいのどうとく（文溪堂）

日時 平成23年10月6日

1 ねらい

幼い人など身近にいる人に温かい心で接し、親切にしようとする心情を育てる。

2 主題設定の理由

〔ねらいとする価値について〕

親切は、自分本位の情によって他に接することをせず、相手の立場を理解し、その人の身になって考え行動することである。相手の立場や気持ちをよく考え、常に幼い人や弱い人、困っている人に親切にすることが大切であることに気づき、そうした心情を育てていくことが肝要である。

ただかわいそう、気の毒だといった感情や「してあげたい」というような優越感の意識なしに、親切にしようとする態度を養いたい。

〔児童の実態〕

児童は、助け合い励まし合うことの大切さがわかり、そういう経験をしてきている。忘れ物をして困っている友達には自分の物を貸したり、泣いている友達に優しく声をかけたりする姿などが見られる。しかし、交友関係の広がりが十分でなく、自己中心的な考えをすることも少なくない。

相手の立場を理解した上で、親切をすると、自分も他人も共に明るく、すがすがしい気持ちになることに気づかせたい。10月下旬には保育園・幼稚園児との交流会があるので、そこで、園児の気持ちをよく考えた親切な行動ができる児童の姿が見られるとよい。

〔資料について〕

けいこたちは、公園で石けりをしていた。それを見ていた小さな女の子も石けりのまねを始めたので、けいこは、その子を遊びに誘おうと思った。しかし、すぐには声が出ず、その後、けいこが女の子を誘うと、女の子ははずかしそうにうなずき、うれしそうに石けりをした。その様子を、お母さんもしこにこしながら見ているという話である。

けいこの親切が、相手にどう受け止められるかをとらえさせることが大切だと考える。特に、幼い子が、うれしそうに遊んでいる様子から、親切にした後の明るさ、すがすがしさをとらえさせたい。また、けいこや女の子だけでなく、お母さんに与えたような親切がもたらす良さの認識を深め、自分も他の人のために親切にしようとする気持ちを育てたい。

〔研究テーマに関わって〕

人とのつながりを大切にし、よりよい生き方を求める実践力の育成

～言語感覚を磨き、自尊感情を高める取組み～

本校の学校経営管理計画には、

「楽しくて分かりやすい授業の創造」の実現のための授業づくり（石部スタイル）

- i) 本時のねらい（＝到達目標）を板書する
- ii) 考えを書く活動を必ず入れる
- iii) 児童の考えを座席表で類別把握する
- iv) 対話活動による考えの交流を取り入れる
- v) 単元の終わりには、出来るようになったことを自覚させる

が示されている。

そこで、道徳の学習においても、ねらいにせまる手立てとして、以下のことを考えた。

- ① ワークシート（ii 考えを書く活動）・・・自分の考えや思いを整理するために、ワークシートに書く。友達と同じ考えだと安心して、安易に友達と同じことを言ってしまう児童がいるので、発表する前に、自分の考えを書いておきたい。
- ② 少人数での聞き合い（iv 対話活動による考えの交流）・・・計算問題やひらがななどを読むというような答えが一つしかない問いには自信を持って答えられることが多い。しかし、自分の思いや考えを話すとなると、どのように言っているのかわからなかったり、自信がなくて発言することができなかつたりすることがある。そこで、少人数での聞き合いの場を持ち、自分の近くにいる友達に自分の思いや考えを話したり、友達の思いや考えを聞いたりすることで、自分の考えも間違っていないんだ、そうか、そのように言えばよかったんだ、と自分の意見に自信を持たせたいと考えた。また、自分と同じ考えを聞いて安心するだけでなく、違う考えにもあることに気づかせたい。
- ③ 座席表の活用（iii 児童の考えを座席表で類別把握）・・・授業前に、今までの授業から自分の思いを書くことに困っているかどうかをチェックしておき、教師の支援に活用する。授業の中では、児童の思いを座席表に書き留め、全体交流の話し合いに活かしたい。さらに、授業後は、児童の変容を見取るためにも活用する。

3 学習の展開

	学習活動と主な発問 (○主な発問、◎中心発問)	児童の発言	教師の支援と評価
導入	1 親切にされた経験を発表する。 ○困っているときにやさしくしてもらったことはありますか。どんなことですか。	・色鉛筆をなくしたとき、さがしてもらえた。 ・色鉛筆をかしてくれました。	・意見が出なかった時は、学級での出来事を紹介する。
展開 前段	2 資料「いしけり」を聞いて、話し合う。 ○小さな女の子がけいこのほうを見て、いしけりのまねを始めたのを見たけいこはどんなことを思いましたか。	・一緒に遊ぼうかな。 ・一緒にいしけりしたいのかな。 ・誘ってみようかな。 ・一緒に遊んでくれるかな。	・場面を想起しやすいように、読み聞かせで使った場面絵を掲示する。